

# 平成17年度八重山群島病害虫発生予報第9号(12月予報)

## 12月の気象予報 要素別予報

要素	気温	降水量	日照時間
予報	並	並	並

(平成17年11月25日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

## 地点別の平均値

要素	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山地方(石垣島)	19.8	22.4	17.7	130.9	95.8

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

## 12月の発生予報

向こう1カ月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

### 八重山群島

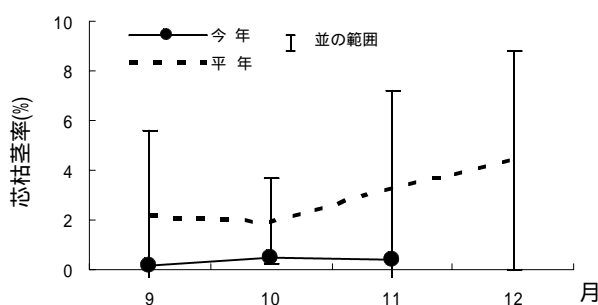
#### 1 さとうきび

##### (1) メイチュウ類

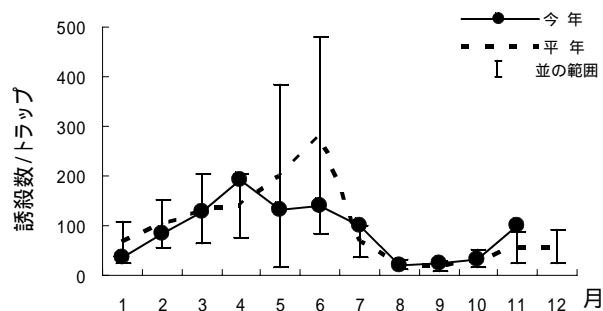
発生程度：並

予報の根拠

- 11月上・中旬の調査の結果、新植夏植圃場での芯枯茎率は0.4%（前年0.9%、平年3.3%）と平年並であった。
- 11月のカンシャノシンクイハマキ合成性フェロモンによるトラップ当たりの誘殺数は101頭（前年93頭、平年57頭）と平年よりやや多かった。



メイチュウ類による芯枯茎率の推移



カンシャノシンクイハマキの発生推移

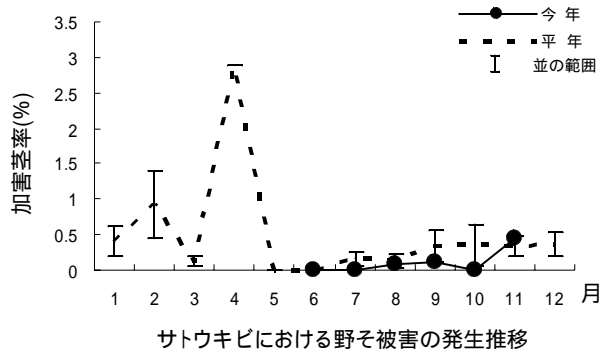
### 防除上注意すべき事項

- 加害による芯枯を防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点を置く。
- 中耕時には、土壌害虫の防除を兼ねた薬剤を選定し施用する。

(2) 野そ

発生程度 : 並  
予報の根拠

11月上・中旬の調査の結果、収穫前圃場における加害茎率は0.5% ( 平年0.3% ) と平年並であった



防除上注意すべき事項

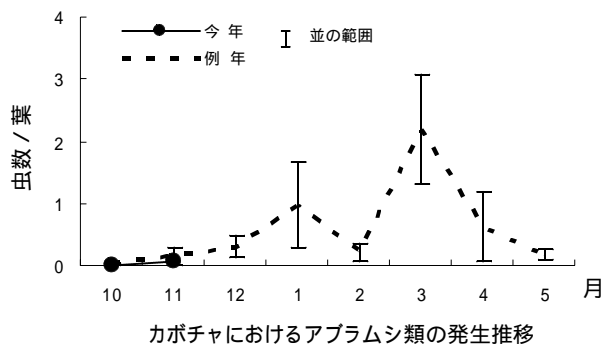
- a 被害は台風で倒伏した収穫前の圃場で多くなる。
- b 今後のブリックス上昇に伴い加害の増大が予想される。
- c 例年発生が多い地域では、地域で共同防除を行う。
- d 畜舎や原野等の隣接圃場では被害が多いので重点駆除する。
- e はく葉等を行い、圃場の環境整備に努める。

2 かぼちゃ

(1) アブラムシ類

発生程度 : 並  
予報の根拠

11月下旬の調査の結果、葉当たり虫数は0.07頭 ( 前年0.2頭、例年0.15頭 ) と例年並であった。



防除上注意すべき事項

- a アブラムシ類はかぼちゃのモザイク病を媒介するので、飛来定着を防止するため、畝間に防風対策を兼ねたソルゴーなどの障壁作物を植え付けるか、防虫ネット等の資材を利用する。
- b 発生源となる圃場内外の寄主雑草を除去する。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県

### 沖縄県病害虫防除所

本 所	〒903-0814	那覇市首里崎山町4-222
	☎	098-886-0227
	FAX	098-886-0242
宮古駐在	〒906-0012	宮古島市平良字西里2071-40
	☎	0980 - 73-2634
	FAX	0980 - 72-6474
八重山駐在	〒907-0003	石垣市平得地底原1178-6
	☎	0980 - 82-4933
	FAX	0980 - 83-1157